



とよしん

海外貿易投資ニュース



第115号

発行日: 2020.12.15

ベトナム大手送出国「エスハイ」の外国人材を活用する企業の事例

今回、信金中金の業務提携先であるベトナム人材の大手送出国であるエスハイ社にて研修を受けた人材を先進的に活用する本多プラス株式会社様にお取組みを伺いました。

【本多プラス株式会社(愛知県新城市)】

プラスチック成形品(化粧品・医療品など)のデザイン、開発、製造を一貫して行う事業者。現在の従業員数は366名、外国人材は101名、その内、ベトナム人材は99名。

外国人材受入れの経緯

当社における技能実習生の活用については、2000年代前半より中国人等の受入れから始まりました。現在では、当社は優良実習実施者として認定され、受入人数枠が拡大し、毎年30名程度の技能実習生を受け入れています。

エスハイとの出会いについては、当社地元の豊橋商工会議所で清水社長補佐によるセミナーを受講したことです。このセミナーを通じて、エスハイの教育体制や人材に興味を持ち、ベトナム現地に行く機会があれば同社へ訪問したいと思いました。

2010年頃から海外での現地法人設立を検討していた当社は、最終的にベトナムを進出候補先として決定しました。2013年1月、入居候補先の工業団地の視察のためベトナム現地を訪れた当社は、エスハイにも訪問を行いました。事前にエスハイについての概要は把握していたものの、実際に校内の見学やスタッフとの面談を通じ、しっかりと教育を行っている信頼できる送出国であることを確認できました。

そのうえで、あらかじめ予定していた面接会にも参加し、エスハイの技能実習生の採用を決定しました。第1期生は2013年6月に入国となり、1年目で計15名が入国となりました。また、同じく2013年6月に、ドンナイ省に所在するAMATA工業団地に当社として初めての海外工場を設立しました。



【ベトナム工場に勤務する元技能実習生達】

外国人材活用の効果

1つ目は、若くてやる気があり、かつ大学等でも専門分野を学んだ優秀な人材が、日本企業で技能・日本語を身に付けるために入社し、継続的に活躍してくれることが挙げられます。

2つ目は、技能実習生は、技術を身に付けるための実習が目的で来日するため、実習期間の3～5年は同一の企業で実習を積む点が挙げられます。そのため、この期間は企業として安心して受け入れ、実習を行うことができます。

3つ目は、海外事業を展開するうえでの戦力になる点が挙げられます。当社では実習を行った人材のうち、優秀な人材については、ベトナムに帰国後、現地法人で雇用を行っております。現在、こうした人材は7名おり、現地の幹部候補になっている者もいます。なお、当社において海外事業の展開にあたっては、現地管理者の育成が重要であると考えていることから、毎年数名の現地スタッフを親会社で受け入れ人材育成を行っております。

賃金

技能実習生の雇用コストについては、最低賃金水準で雇用しても、監理団体に対する支払費用を考慮する必要があります。また、制度上の優良実習実施者の認定を受けるためにも、2年～3年目の技能実習生に対しては賃金を3%引き上げています。また、4～5年目の技能実習生に対しては更に引き上げを行っているため、技能実習生だからといって人件費が安い訳ではありません。

ベトナム人の気質

エスハイで学んだベトナム人については勤勉な方が多いと思います。一生懸命働き、専門技術や管理業務まで身に付けたいという意欲の高い方も多数います。また、大学で関連分野を専攻して来日する技能実習生もおります。

(裏面に続く)

日本語能力

当社が受け入れているエスハイからの技能実習生については、日本語学習期間が10か月と長期間しっかり勉強していることから、日常生活や実習に必要な基本的な日本語力を身に付けていると思います。



【技能実習生達向けの渡航前勉強会】

寮・実習生に対する社内サポート体制

寮については、借上アパートを用意しており、2DKの間取りに4名ずつ入居しています。1人あたりの家賃については、負担とならない程度の適正な金額を毎月の給与より天引きしています。

技能実習生に対する社内サポート体制につきましては、技能実習指導員および生活指導員を選任するなど制度上必要な社内体制の構築を行っております。また、当社では多くの外国人材を活用していることもあり、例えば来日したばかりの技能実習生に何か困り事があれば、周りの先輩たちが自然にサポートしてくれています。

外国人材の体制・日本人社員とのコミュニケーション

現在、当社には101名の外国人材がいます。そのうち、ベトナム人が99名と多数を占めており、内訳としては技能実習生89名、高度人材5名、ベトナム現地法人で雇用して「企業内転勤」の在留資格で来日しているベトナム人が2名、パート2名、準社員1名が在籍しています。

当社においては従前から外国人が働いている職場でもあり、外国人だからと言って苦手意識を持っている日本人スタッフは少なく、国籍に関わらずコミュニケーション良く仕事ができていると思います。

(出所: 信金中金 海外ビジネス相談ニュース 2020年11月「ベトナム大手送出国際機関「エスハイ」の外国人材を活用する企業の事例」)

ホーチミン市直轄の新都市計画案に政府が同意(ベトナム)

ベトナムのチン・ディン・ズン副首相は11月10日、ホーチミン市内に市直轄の仮称「トゥードック市」(以下、トゥードック市)を設立する計画案に同意したと、共産党機関紙やその他の当地の複数メディアが報じた。市直轄の第1級市(注)の設立は全国初の試みだ。

ズン副首相は、ベトナム建設省の提案を受けてこの計画案に同意した上で、ホーチミン市人民委員会に対し、トゥードック市設立に向けて計画を完成させるとともに、設立後にはトゥードック市がホーチミン市直轄の第1級市として認められるよう総合計画案を策定し、法律に従って各管轄当局に必要な書類を提出するよう指示した(「共産党新聞」電子版11月13日)。

このトゥードック市の計画地は、ホーチミン市内を流れるサイゴン川を隔てた市内東部に位置する「2区」「9区」「トゥードック区」から形成され、面積は211平方キロメートル以上。人口は150万人以上と想定され、その経済規模はホーチミン市の地域総生産(GRDP)の3分の1、ベトナム国内GDPの7%に相当する(「VNエクスプレス」11月11日)。

また、ホーチミン市交通運輸局は、2030年までにトゥードック市に関連する交通インフラの整備に300兆ドン(約1兆3,500億円、1ドン=約0.0045円)を必要としている(「タイチン」紙電子版11月6日付)。

トゥードック市の計画地には南部の海上輸送の要所とされるカットライ港も含まれ、日系製造業が多く進出し、新空港ロンタン国際空港の建設が計画中のドンナイ省に隣接する。また、深水港のカイメップ・チャーバイ国際港が位置するバリア＝ブンタウ省へのアクセスも良好な位置にあり、注目を集めている。

(注)ベトナム国内には現在、中央直轄のハイフォン市、ダナン市、カントー市の3市、各地方省直轄の19市の計22の第1級市がある。首都ハノイ市とホーチミン市は中央直轄の特別市に分類される。今回のトゥードック市はホーチミン市直轄で、全国初の市直轄の第1級市になるとされる。

(出所: ジェトロ ビジネス短信 2020年11月26日「ホーチミン市直轄の新都市計画案に政府が同意(ベトナム)」)

外貨両替は、とよしんへ！当金庫では17通貨を取扱っています。

次のイベントで参加者を募集中です。ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

イベント名	開催日	主催者
オンライン商談会「しんきんフードEXPO[海外]」	2021年1月25日～2月5日	信金中央金庫
「越境ECストア」への出品企業の募集	2021年3月～8月	信金中央金庫
ベトナム信金会特別ウェビナー	12月23日	信金中央金庫
2020年度「JAPAN MALL事業」(海外EC販売)	通年	JETRO
2020年度高度外国人材活躍推進コーディネーターによる伴走型支援	2020年4月～2021年3月	JETRO



心と心のおつきあい

豊田信用金庫

国際業務部

〒471-8601

愛知県豊田市元城町1-48

電話 0565-36-1381

FAX 0565-36-1213